

さらに未来への歩み 新総合計画策定に向けて。

仙台市では、現在 新総合計画の策定を進めています。今後のまちづくりにおいては、人口減少の局面に入る中で都市の持続的な活力の創出や、多様化する地域課題への対応に力を入れていくことが重要と考えています。実効性のある計画となるよう、さまざまな機会を通じて市民の皆さまのご意見を幅広くいたきながら、全市的視点だけでなく、区や地域の視点も大切にして議論を進めていきます。

政令指定都市30周年にあたる、いまこの時代が、震災を乗り越え新たな杜の都に向けて力強い一步を踏み出した節目の時だった、と振り返ることができるように、市民の皆さんとともに、仙台市はさらに歩みを進めていきます。

いつしょに、次のあしたへ。

政令指定都市・区制移行30周年記録誌



未来へ・世界へ・あなたと



政令指定都市・区制移行30周年

発行 令和元年7月 まちづくり政策局政策企画部政策調整課 〒980-8671 仙台市青葉区国分町3-7-1 市役所本庁舎3階 TEL 022-214-1244
記事提供／河北新報社



政令指定都市誕生まで

昭和59年 1984～平成元年 1989

昭和61年、仙台市より1市2町に対して合併協議の申し入れが行われ、62年に宮城町合併、63年に秋保町、泉市合併が実現しました。

これにより仙台市の人口は約88万8千人となり、

平成元年4月1日、政令指定都市に移行。

青葉区・宮城野区・若林区・太白区・泉区の5区が誕生しました。



平成元年 1989.1
「平成」に改元

平成元年 1989.4
政令指定都市誕生



1989年4月15日政令指定都市移行記念式典（資料提供：河北新報社）

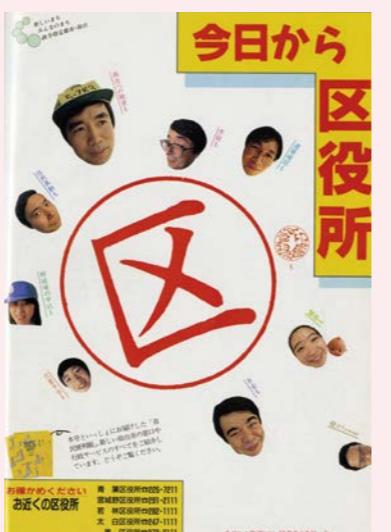
市制施行100周年を迎えた1989年4月1日、政令指定都市仙台市が誕生しました。同時に、青葉・宮城野・若林・太白・泉の5区が設置され、各区役所が業務を開始しました。



1989年6月10日 市制施行100周年記念式



仙台市政だより平成元年5月号より



仙台市政だより平成元年4月号より

昭和59年 1984.3
周辺市町との合併推進の方向を表明

昭和59年 1984.10
政令指定都市移行構想の表明

昭和61年 1986.4
1市2町に合併協議の申し入れ

昭和62年 1987.6
仙台市議会・宮城町議会で合併議案を議決

昭和62年 1987.11
宮城町と合併

仙台市人口は、714,712人から743,805人に増加。

昭和62年 1987.12
仙台市議会・秋保町議会で合併議案を議決

昭和63年 1988.1
仙台市議会・泉市議会で合併議案を議決

昭和63年 1988.3
泉市、秋保町と合併

泉市137,413人、秋保町5,051人が加わり、仙台市人口は887,864人に。

昭和63年 1988.9
仙台市の政令指定都市移行が閣議決定



泉市・秋保町と合併

新仙台市へ誕生

平成元年 1989～平成10年 1998



平成5年 1993.6
石井元市長逮捕



平成4年 1992.7
地下鉄南北線泉中央駅まで延伸



平成8年 1996.3
環境基本条例の制定



平成7年 1995.3
杜の都の風土を育む景観条例の制定



平成2年 1990.4
仙台空港初の国際定期便
(ソウル便)就航



仙台市政だより平成元年8月号より
平成元年 1989.7
'89グリーンフェアせんだい開催



平成3年 1991.6
東北新幹線 東京駅乗り入れ



平成3年 1991.3
第1回仙台ハーフマラソン大会開催

平成2年、仙台空港初の国際定期便(ソウル便)が就航。
平成4年には、仙台市地下鉄が泉中央駅まで延伸し、
またグリーンフェアせんだいの開催、
仙台市北部の副都心形成に向けて大きく前進することとなりました。

仙台の都の風土を育む景観条例・環境基本条例の制定により、
緑化や環境保全、景観づくりなどに向けた取り組みを進めました。

仙台ハーフマラソン 17日正午号砲

海外招待選手ら精鋭180人

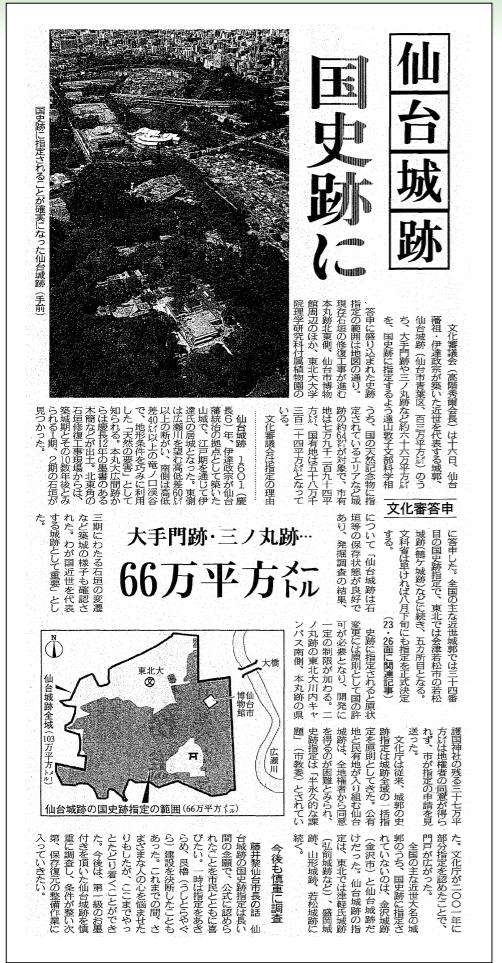
平成2年、仙台空港初の国際定期便(ソウル便)が就航。

平成11年 1999～平成19年 2007

仙台市の人口は年々増加し、政令指定都市移行10年の節目の年である平成11年5月、100万人を突破しました。

仙台市南部の広域拠点形成に向けて整備が進んでいた、

あすと長町地区が平成19年に街開きとなりました。



平成15年 2003.8
仙台城跡国史跡指定



平成13年 2001.9~10 新世紀・みやぎ国体開催(夏季・秋季)

